

平成 23 年度広島県公民館等職員研修会（東部会場第 1 分科会）

分科会テーマ	地域の教育力の向上
発表内容	自治振興区による放課後子ども教室の取組 ～地域の子どもは地域で守り、地域で育てる～
発表者	実安 裕美（庄原市山内自治振興センター）
コーディネーター	大下 展弘（広島県立生涯学習センター） 久保隅 武（熊野東公民館）
運営委員	林 康則（三次市教育委員会）
記録者	稲福 純哉（世羅町企画課）
<p>1 分科会の目標・会の進め方の確認【林】</p> <p>目標：・地域の中で地域の子どもを育む取組について交流し，課題の共有化とその課題の対策を考えることにより，今後の事業展開に生かす。 ・他館との情報を交換し，交流を図る。</p> <p>2 実践事例発表【実安】 ※2～4のコーディネーター：久保隅</p> <p>(1)山内地域の紹介</p> <p>(2)これまでの経過</p> <p>平成 21 年 5 月 山内自治振興区が庄原市及び山内小学校より庄原市放課後子どもプランの依頼を受ける。 →区長，事務局長，山内地区社協会長，教職員経験者等が対応を協議 →1名の教職員経験者を指導者の代表として依頼 →指導者代表を中心に，区長などの全員で指導者の選定</p> <p>平成 21 年 7 月 夏休みから放課後児童クラブとして開始</p> <p>平成 22 年 4 月 放課後子ども教室として開始(指導者 15 名が，指導者として交代で勤務)</p> <p>(3)山内放課後子ども教室の取組について</p> <p>①山内放課後子ども教室の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庄原市から山内自治振興区へ委託されている ○教室を自治振興センターで行っている ○単なる子守ではなく指導方針を持って行っている ○指導員のほとんどが地区住民である ○指導員がそれぞれの特技を生かして指導している ○毎月 1 回指導者会議をもち，意識統一を図っている <p>②山内放課後子ども教室の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心して安全に過ごせる場とする ○人間性を育てる場とする～信頼される人になるように～ ○集団の中であり方を身につけさせる場とする ○集団活動の決まりを守らせる ○保護者，学校の連携を密にする <p>③これまでの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然とのかかわり 川遊び，カヌー体験，自然観察，魚釣り，玉ねぎ栽培，蚕の飼育と糸取り等 ○遊び，体力づくり バンブーダンス，卓球，縄跳び，水泳，剣玉，ミニテニス等 ○学習 論語，読書，読み聞かせ，平和学習，英語，音楽，星の観察等 ○行事 節分，クリスマス，クリスマスツリー作り，七夕飾り，雛流し等 	

○その他

調理実習，地域の人との交流，避難訓練等

(4)質疑応答

Q：児童クラブをしている。部屋の大きさ、設備について聞きたい。現在、施設が充分の広さがないので隣接している農協を賃借している。50万円で整備して立ち上げた。また、生涯学習講座があると部屋の調整が出てくるのではないか。

A：生涯学習教室を優先している。子ども教室は空いた部屋を利用している。夏休みは隣接の小中学校を借り、設備・備品は廃校で使わなくなったものを調達した。

Q：カリキュラムが魅力的だ。子ども教室に来ていない子どもからの参加要望があるか？

A：PRを十分してないからか、今はそのような要望はない。親御さんの評価もあるし、かといって子どもの受け止めが異なることもある。

Q：児童クラブをしているが、のんびりさせている。地理上、地域外からの通学もあり、利用者が増えてきている。

A：自由に遊ばせる意見もあったが、教育方針の下でやっている。子どものコントロール・気持ちのコントロールが大事。

3 グループワーク①【久保岡】

協議内容「地域の中で地域の子どもを育む取組の交流」

- ① グループワークの内容説明
- ② 自己紹介
- ③ 具体的な取組と成果と課題の交流
- ④ 課題をまとめ、発表する

【発表内容】

Fグループ	取組：小中で社会見学等 成果：世代間交流・知識の習得等 課題：同じ人の参加・学習プログラムの作成苦悩等
Eグループ	取組：見守り、子ども教室等 成果： 課題：子どもと地域の参加を高める
Dグループ	取組：子ども教室・世代間交流等 成果：多くの人の関わり・人材発掘 課題：スタッフが少ない・連携を深める・若い世代の参加
Cグループ	取組：夏休み体験教室・世代間交流 成果：子どもの自主性を伸ばす・地域の人と子どもが顔見知りになる・礼儀が身に着く 課題：参加者少ない・親の協力・指導者の高齢化
Bグループ	取組：料理教室・児童クラブ等 成果：要望が出るようになった・規律ある行動・地域の交流 課題：参加者が同じで不公平感・運営資金の不足・小学校との連携
Aグループ	取組：世代間交流・見守り・子ども教室等 成果：楽しんでいる・子と親の名前が一致する 課題：スクールバスの土曜日運行がない・取組ほど負担が増える

4 グループワーク②【久保岡】

協議内容「まとめた課題の解決方法について」

- ① グループワーク①でまとめた課題に対する手立てを考える
- ② グループでまとめる

③ グループごとに発表する

【発表内容】

Aグループ	課題：小学校の教員に地元出身者が少ないので協力を得にくい 解決策：学校との連携を密にする
Bグループ	課題：学校の連携・親の協力 解決策：学校との連携を密にする・親の意識を向上させる
Cグループ	課題：子どもが少ない・親の協力・指導者不足 解決策：親が協力して行う事業をする・広報活動を促進する・学校を巻き込める事業をする
Dグループ	課題：スタッフが少ない 解決策：PTA総会に出席して呼び掛ける・ネットワークを広げる・地域人材の発掘をする
Eグループ	課題：参加者が限られる・参加者が少ない 解決策：子どもが参加しやすい事業を仕掛ける・保護者の協力が必要な事業の実施をする・体験または参加型の事業を実施する
Fグループ	課題：行事の広報 解決策：広報誌や無線あるいは有線放送の利用をする

5 まとめ【大下】

○本研修で得たことを今後の取組にいかす。

○山内放課後子ども教室の指導者15名は、簡単に集まったわけではなく、中心となった方たちの熱意に共感し、地域の子どもたちを地域で関わっていきたいという思いをもった人たちである。様々なハードルはあると思うが、今日の研修を参考にして、更に本研修でできたネットワークを活用して子どもたちのために取り組んでもらいたい。

6 閉会【林】

コーディネーターの所感	<p>○自治振興区の放課後子ども教室の取組を提案していただき、参加者へ参考となることが多くあった。ただ、30分発表時間をとったため、質問時間が短くなった。内容を絞り込み、時間を20分程度すれば、時間確保が可能だと思う。</p> <p>○グループワーク①では、「地域の中で地域の子どもを育む取組」を交流してもらった。多少混乱させてしまったところはあったが、グループ毎に個々の取組を交流することはできた。指示の仕方を十分に考えておく必要がある。</p> <p>○グループワーク②では、①の課題の解決方法を考えてもらった。スタッフ不足をPTA総会で協力を呼びかけるなど、各地域で取り組んでいる方法を交流することができた。時間が下がってしまい、十分な時間を確保することができなかった。</p> <p>○時間配分は、想定したよりは、時間が下がってしまった。より綿密に会の打合せをしておく必要があった。</p> <p>○会の流れや内容を目に見える形にしておく。言葉だけでは、説明が十分に伝わらない。ホワイトボードへの提示、分科会のレジュメ等を工夫すれば、よりスムーズな運営が可能になる。また、短時間で有効なものにするためには2部に分けず、①事業名②成果、課題③解決方法という流れも考えられる</p> <p>○コーディネーターを上級研修修了者にいただいた。和やかな雰囲気を作ってもらった。マイクを使えば、更に指示が伝わりやすかった。(準備をしていたが、活用しなかった。)</p>
-------------	--